

電気通信番号政策委員会

「携帯電話番号の有効利用に向けた電気通信番号に係る制度の在り方」  
について（ご回答）

KDDI株式会社

平成27年7月9日



# 1. 携帯電話番号の需要について

	ご質問	ご回答
1-1	現状、携帯電話番号を利用するM2Mサービスとして、どのようなサービスを提供しているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>別紙1のとおり、主にモジュール型端末を利用したサービスを提供しています。</li></ul>
1-2	今後、携帯電話番号を利用するM2Mサービスの需要の伸びをどのように想定しているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>弊社では、現行の伸びが続くものと想定しています。</li><li>従いまして、総務省殿が想定されているとおり※平成30年頃に指定可能な携帯電話番号が不足すると考えられます。 ※第13回番号政策委員会 配布資料13-2 スライド7</li><li>番号需要の伸びをもたらす可能性としては、M2M番号についてはIoT、M2Mが、携帯電話番号についてはMVNOの普及などが想定されます。</li></ul>
1-3	今後、M2Mサービスを除く携帯電話番号の需要の伸びをどのように想定しているか。	

## 2.M2M専用電話番号について

	ご質問	ご回答
2-1	携帯電話網を利用するM2MサービスにM2M専用番号を設けることについて、どのように考えるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• M2Mなど、突発的に大量に番号が必要となるサービスに対し、一般番号の指定基準と異なる番号帯及び新たな指定基準を設けることが望ましいと考えます。</li> <li>• ただし、M2M専用番号を導入後、既に導入しているユーザの番号変更を行わなければならない場合、大きなインパクトが生じます。このようなことが生じないよう、柔軟な運用ができることが必要と考えます。</li> </ul>
2-2	M2M専用番号を設ける場合、どのような番号又は識別子及び桁数が良いと考えるか。	<p>以下はM2M専用番号帯を設ける前提で述べさせていただきます。(固定系事業者としても同意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 固定及び携帯事業者の網改修、既存ユーザへの設備インパクト、及び対応に要する期間※を考慮し、現行の0A0番号で11桁が適当と考えます。</li> </ul>
2-3	M2M専用番号を設ける場合、携帯電話事業者間又は携帯電話事業者以外の電話事業者との間でどのような影響又は留意すべき事項はあるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>※対応完了前に070番号が枯渇しないよう留意が必要。</li> <li>※既オープン番号(020,060)の利活用の検討が適当。</li> </ul>
2-4	M2M専用番号を設ける場合、現に利用している利用者への影響をどのように考えるか。利用者保護の観点からどのような方策が考えられるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• M2M専用番号は一般の携帯番号に比べて用途が限られるため、1種指定設備との相互接続を必須としないなど、いくつかの点で指定要件の緩和が検討可能と考えます。</li> <li>• ユーザの設備等に大きな影響が生じる恐れがあるため、既存ユーザの番号変更は回避すべきと考えます。</li> </ul>

## 2.M2M専用電話番号について

	ご質問	ご回答
2-5	M2M専用番号の指定基準についてどのように考えるか。	<ul style="list-style-type: none"><li>• M2M市場では短期間に多量の番号リソースがユーザに求められるなど、実績需要から傾きを求めて算出する従来方式があてはまらないケースが考えられるため、これらの特需に対応できるような指定基準の導入が望まれます。（別紙2参照）</li></ul>
2-6	スウェーデンでは固定電話網で利用するM2M専用番号を設けているが、どのように考えるか。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 現時点において特に必要とは考えていません。</li></ul>

### 3.携帯電話番号の枯渇対策について

	ご質問	ご回答
3-1	携帯電話番号の枯渇対策として電気通信番号指定基準を見直す場合、どのような影響又は留意すべき事項はあるか。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 現状携帯電話契約数は増加傾向にあり、MVNOの普及によってさらに増加する可能性もあります。</li><li>• 最近の番号利用実績※も踏まえると、突発的需要にも対応できるよう、特需による指定或いは番号を利用可能となるまでのリードタイムの短期化などの柔軟な対応も選択肢の一つと考えます(別紙3参照)。 ※春に指定を受けた番号が利用可能となる時期(毎年12月ごろ)に使用率が80%程度に達する。</li></ul>
3-2	将来的な携帯電話番号の枯渇対策として、どのような方策が考えられるか。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 新規0A0番号の導入、番号桁数の桁増しなどの対策が考えられます。</li><li>• M2Mについては、ITU-T等で検討されているとおりプライベート番号、新識別子の導入、桁増し等の方策が考えられますが、これらについては番号の消費状況を踏まえ、技術開発、標準化などの動向を注視し、継続検討とすることが適切と考えます。</li></ul>



## 商用車・乗用車



**運行状況のリアルタイム提供**  
運行状況をセンターで管理し、到着時間をお客さまへお知らせ。お客さま満足度を向上し、問い合わせ対応コストを削減。



**運行情報の活用**  
車両からリアルタイムに情報を収集し、運行中に注意喚起することで、事故防止と燃費向上。



**予約状況をサーバ管理**  
カーシェアリングの予約状況をサーバで一括管理し、空き時間を表示。運用効率アップにより売上拡大。



## セキュリティ機器



**見守りで安全安心**  
位置情報検索や緊急時の通報機能で、大車にお子さまや高齢者のトラブルを未然に防止。



**車両の盗難防止**  
不正運転 通報や遠隔からの監視、車両の位置情報検索で盗難被害を回避。



**ドライブレコーダーで事故処理円滑化**  
事故発生時の映像をサーバへアップロードし、交通事故の処理を円滑化。



## 工事・防災機器



**工事現場の安心安全**  
現場の状況をリアルタイムに監視。万が一の場合には遠隔操作で対応し、現場駆けつけ回数を削減。



**防災・災害対策**  
気象庁、国・地方公共団体から配信される緊急通報メールを受けて、事前に安全対策を実施することで、被害を最小化。



**リアルタイムの状況表示**  
遠隔操作で表示内容を変更。無人作業による表示変更と作業の効率化でコスト削減。



## 建設・産業機械



**稼働状況の遠隔監視**  
機器の情報をサーバに随時アップロードすることで、稼働状況の見える化を実現。故障時の迅速な対応で稼働率を向上。



**故障トラブルの未然防止**  
機器の稼働情報を収集・分析し、故障を予防する能動的な保守を実施。サービス品質の向上と保守コストを削減。



**電力使用量の見える化**  
電力使用量や使用傾向を把握し、マネジメントすることにより、不要な電力使用量を削減。



## 在庫・決済端末



**リアルタイム在庫管理**  
自動販売機の商品在庫情報や納品情報をサーバへ送信。補充業務の効率化と欠品による販売機会損失の回避。

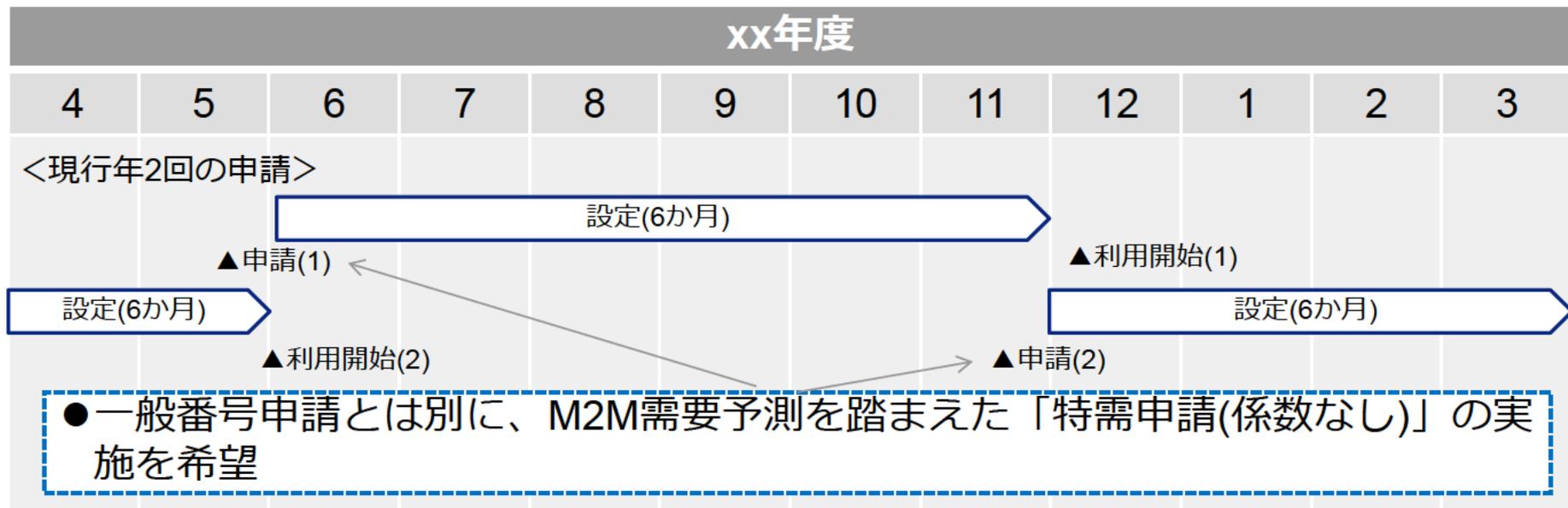


**迅速なオーダー業務**  
小売やサービスの現場での在庫情報を通信を用いて管理。最適な在庫管理により在庫コスト低減。



**決済端末の簡単設置**  
お客さままでのクレジットカード決済や電子マネー決済の提供により売上機会を拡大。

- M2Mについては、短期間の内に一定量の番号(数万～数十万番号)が纏めて必要となることから、従前の直近需要増を反映する「増加係数」を用いた算出ではなく、需要予測をベースとした番号指定が望ましい。
- 尚、M2Mは一旦導入すると使用期間が長いことから、解約後の休止期間は考慮不要と考える（使用率：0.85の適用は不要）。
- 上記を踏まえ、M2M需要数＝必要番号数（例：需要45,000台の場合、50,000番）とし、一般番号の申請時期に合わせて申請することが望ましい。



- 需要予測を超える突発的な案件については、6ヶ月毎の申請へ反映が困難なため、ある程度余裕を持った番号確保が必要（番号不足は通信事業者にとって死活問題）。
- 但し、番号利用までのリードタイムを短期化(3ヶ月)とすることで、予測を超える突発需要への対応が可能となるため、現行の指定基準見直しは選択肢の一つと考える。
- 3ヶ月毎の申請（追加番号の利用開始）とすることを前提に、現在の過去3ヶ月実績から算出される「係数」を、過去6ヶ月～1年実績からの算出とし、より平均的な増加傾向を用いた算出とすることで、利用効率を高められるものと考えられる。

